

<就任挨拶：国際奉仕委員会：小菅正彦委員長>

本年度の国際奉仕委員会は私と並木さんと三村さんの三人であります。一年間よろしくお願い申し上げます。本日は外部卓話者もおみえの様ですし、その他にもプログラムがぎっしりの様ですので、メンバーの紹介で終わります。



<就任挨拶：青少年奉仕委員会：齋藤國春委員長>

「青少年奉仕委員会」を担当いたします、齋藤でございます。副委員長には、庄司進さん、委員に山本穰司さんの3名体制でございます。



本年度から「新世代奉仕委員会」から「青少年奉仕委員会」に、名称の変更が御座いました。本日、臨時理事会が急遽開催され、「規定審議会」からの決定であり、その活動内容等は、変わらないとのことで、当クラブも変更を決定いたします。

[目標]

未来への投資は大変重要です。「青少年奉仕委員会」は、この役目を認識して、そのプログラムやリソースを積極的に提供して行く。

[活動計画]

- ① ライラへの参加
- ② わくわく探検隊への参加と支援
- ③ 「青少年奉仕委員会」のための会議への出席
- ④ 東日本大震災における孤児への支援

これらを達成するため、「国際奉仕委員会」「社会奉仕委員会」との連携を密にしていきたい。一年間どうぞよろしく、ご指導をお願いいたします。

<ロボカップの報告と御礼：小金中学校校長：阿曾祐康様>

貴台より頂きましたご支援のおかげをもちまして、小金中学校科学部は、ロボカップジュニア2013オランダ大会の全日程を終え、7月2日に無事帰国致しました。大会では2度のパフォーマンス（発表）でロボットが動かないというトラブルがあり、決勝の壁を超える事はできませんでしたが、最後まで粘り強くロボットの調整を行う姿に世界大会を経験した成長の証を見る事ができました。



最後に行われたスーパーチームでの発表は、ポルトガル、イタリアとチームを組み、自分達のロボットを駆使し、プレゼン、パフォーマンス発表のための話し合いや作業を英語で行い、見事スーパーチーム部門のワールドチャンピオンに輝くことができました。生徒達にとって、最後まであきらめることなく、堂々と自分達のベストを尽くして世界の大舞台に立てたことは、何事にも代えられない貴重な経験であり、このような機会を与えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。らためまして、小金中学校科学部のロボカップジュニア2013世界大会への派遣に際しまして、ご支援を頂戴しました皆様に、心より感謝、御礼申し上げます。ありがとうございました。



■小金中学校を代表して阿曾祐康校長にニコニコを頂戴いたしました。

国際ロータリー第2790地区第12分区

松戸北ロータリークラブ



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

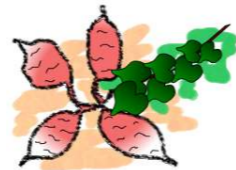
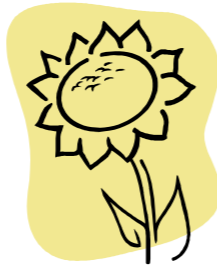
第1975回 例会 2013年7月23日(火)

- 国際ロータリー会長      ロンD. パートン      ■例会日 - 毎週火曜日12:30より (第1例会18:30)
- 第2790地区ガバナー      関口 徳雄      ■例会場 - 松戸市八ヶ崎1-10-6 「びわ亭」
- 第12分区ガバナー補佐      渡辺 敏弘      ■事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サライズハイツ101
- 松戸北ロータリークラブ会長      児山 守治      ■TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
- 松戸北ロータリークラブ幹事      平田 洋一      ■Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

# WEEKLY REPORT

## <第1975回:例会プログラム>

12:30 点鐘	児山会長
ロータリーソング (我等の生業) 斉唱	
お客様紹介	崎谷会長エレクト
会食	
例会再開	
13:00 会長挨拶・報告	児山会長
13:05 幹事報告	平田幹事
13:10 【委員長就任挨拶】	
国際奉仕委員会	小菅委員長
13:15 青少年奉仕委員会	齋藤國春委員長
13:20 【ロボカップジュニア世界大会出場のお礼と結果報告】	
松戸市立小金中学校	阿曾祐康校長
13:25 【委員会報告】	
社会奉仕委員会 社会奉仕基金発表	高崎委員長
ニコニコ委員会 ニコニコ発表	小林弘委員長
13:30 点鐘	児山会長
13:31 【クラブフォーラム】	13:50終了



## <会長挨拶：児山守治会長>

みなさん こんにちは。連日暑い日が続きますがお元気でしょうか？臨時理事会のご報告を申し上げます。

- ①新世代奉仕委員会が青少年奉仕委員会に改称承認
- ②大川高明さんの入会式8月6日で承認
- ③財産目録のニコニコBOXの定期預金を周年積立金に移行する。

本日は午前6時30分からロータリー農園でさつまいも畑の草取りとつる返しを12名の有志で行いました。皆さんありがとうございました。

秋の芋掘り大会が楽しみです。

年度か替わって4回目の例会となります。第1回目の例会では1905年(明治38年)今からちょうど108年前にポール ハリス アーサー シェルドン と チェスレイ ペリー が 信頼して取引の出来る仲間としてロータリークラブを設立したところまでお話ししました。ロータリーの誕生から近代のロータリーへと次第に形作られて行きます。

ロータリーの2大標語も誕生します。1つは「超我の奉仕」Service Above Self その2は「最もよく奉仕するもの 最も多く報われる」He Profits Most Who Serves Best 今後もロータリークラブの歴史を少しずつ紐解いて行きたいと思っております。

本日は小金中学校の校長先生 教頭先生がお見えになっています。小金中の生徒さんがロボカップの世界大会に参加して優秀な成績を修められましたとの事 後程 卓話がございます。楽しみにしていただきたいと思っております。尚例会終了後 第1回目の クラブ協議会を開催いたします。宜しくお願いします。

来週7月30日の例会は吉田俊一さんがTPPについて卓話予定となっております。どうぞご期待下さい。これで会長挨拶とさせていただきます。



## <幹事報告：平田洋一幹事>

松戸西ロータリークラブ 7月31日(水)・8月14日(水) 休会  
我孫子ロータリークラブ 7月30日(火) 家族例化の為夜間例会に変更  
8月13日(火) 休会

ロータリーの友・ガバナー月信が余っているので持って帰ってない方はお持ち帰りください。また、10月7日(月) 鶴舞カントリー倶楽部にて開催予定の地区記念ゴルフ大会のエントリーが始まっています。

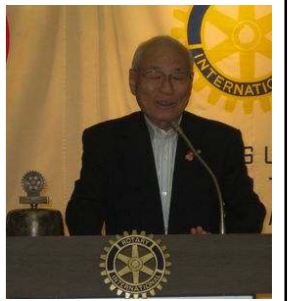
詳しい事は、事務局に尋ねのうえエントリーお願いいたします。白鳥ガバナーエレクトからお礼のお手紙を頂戴いたしました。



# WEEKLY REPORT

## <卓話:白鳥政孝パストガバナー:ロータリー雑感・後篇>

### ロータリーの活用について



私はクラブや地区から、あるいは世界中のロータリーから(おもに「ロータリーの友」を通して)見聞を広め、いろいろな分野に関心を持つようになり、今までにない角度からも物事を見るようになりました。未知の分野への関心から知識を得て、実際に体験することから分別ある教養が身につけてまいりました。そして、より向上心が芽生え次から次へと良い環境に自分をおくようになり、自己中心の考えから抜けて人間性の向上に繋がっているのではないかと考えています。人間がいかに生きるかを追求する追及する哲学と思想があると同時に、ロータリーにおいても人間形成を第一において哲学や思想を大事にしているの、親睦の哲学、奉仕の哲学やロータリーの理念を学ぶことは基本中の基本であります。とりわけロータリーの職業奉仕の追及を怠ってはならないと思います。原理原則を知らずしてロータリーを語れないのであります。

さらに、ロータリーは自己の欲望をいかにコントロールするかを常に訓練させていることから、物事の判断する際に何処に一線を引くかのときに、ロータリーで養った判断力がものを言います。世の中のためになるところで線引くか、どうか。これはまちまちであります。より精神の高揚したところで線引くようにロータリーは向上させる力をあたえ、それを促しています。そのことからロータリーには終わりはないのです。これでロータリーをマスターしたということはありません。エンドレスであります。こうして考えるとロータリーは実に大変だと思えますね。しかし、そればかりではありません。ロータリーには自己研鑽の訓練中に本当の心の仲間ができます。この方々との週一度の語り合いによって、お互い心が癒されるのです。同じ釜の飯を食う意味がここにあります。

こうして皆さまとお会いし。卓話を体験し、学ばせて頂いています。もし、ロータリーに入会していなかったら、もしロータリーをまじめに学んでいなかったら、このようなことは無かつたらうと思えます。ロータリーが及ぼす影響は実に凄いです。また、もしロータリーに入会していないならば、これほどの人間的な成長と、世の中の真実(本質)を知りえたかどうか疑問であります。

入会して30年近くなる今、心が後ろ向きになったとき、何度もロータリーを辞めようと思ったことがあります。ロータリーをより深く知り、いろんな人との出会いから後ろ向き心が前向きに転じたりする繰り返しでしたが、辞めないでいて本当に良かったと思っています。

鎌倉時代初期の道元禅僧の言葉に「霧の中を歩めば、覚えざるに衣湿る」という一節があります。朝早く起きて、朝もやの中を歩いて帰ってみると、知らないうちに衣が湿っていた。その場所にいるときはわからないが、知らないうちに影響をうけてしまう。ある雰囲気の中だと自然にその影響を受けてしまうという話です。子供の教育に環境が大事であるからという「孟母三遷の教え」もあります。人生において周囲の環境がその人におよぼす影響はとても大きいものがあります。

いまロータリーの広報が声高に叫ばれていますが、「ロータリーは夜中にしとしと降る春雨のごとし」ともいわれていたこともあります。夜半に春雨が人知れず降りそそぎ、翌朝起きてみるとあたり一面しっぼりと湿っている・なんともいえない静寂で安らいだ雰囲気を醸しだしている。ロータリーとは地域社会において夜中に人知れずしとしと降る春雨のごとしというのであります。含蓄のある話です。

こうしてみると所属するクラブの雰囲気がロータリー・ライフの中でどんなに大切であるか、いうまでもありません。クラブを切磋琢磨、自己研鑽の場とし、友情を育む場とするならば、クラブの雰囲気作りをおろそかにできないと、つくづく思います。私のクラブ、私たちのクラブです。クラブの雰囲気作りを真剣に考えていくことが、奉仕の理念を実践する第一歩であると思えます。

私は28年間のロータリー・ライフにおいて多くの感動を恩恵をたっぷり受けています。これもロータリーとロータリアン皆さまのおかげであると、また家族、会社の従業員の皆様のおかげでも深く感謝しています。ご静聴有難うございます。